

平成26年4月1日
関東森林管理局

「東日本大震災の被災地で適用する森林整備保全事業標準歩掛について」の一部改正について

岩手県、宮城県、福島県では、早期復興に向け大規模な復旧・復興事業が推進されており、工事量の増大による資材やダンプトラック等の不足で標準積算基準と施工実態との間で、乖離（日当り作業量の低下）が生じていることから、「復興歩掛」を制定し、平成25年10月1日以降に入札公告する工事から適用しているところですが、土工の一部工種について、歩掛の改正を行いましたのでお知らせします。

1 歩掛改正内容

ダンプトラック運搬を行うためのバックホウによる土砂の掘削積込及びダンプトラックで運搬された土砂の敷均し締固めまでの一連の土工作業について、日当り作業量を20%補正（現行10%）

詳細については、別紙新旧対照表のとおり

2 対象工事

福島県における関東森林管理局（森林管理署等含む。）が発注する森林土木工事（海岸防災林復旧工事を含む。）

3 適用年月

平成26年4月1日以降に入札公告する工事から適用

東日本大震災の被災地で適用する森林整備保全事業標準歩掛について（平成25年9月12日付け25林整計第534号林野庁森林整備部長通知）
一部改正新旧対照表

改 正 後	現 行
<p>森林整備保全事業標準歩掛の留意事項</p> <p>1 } [略] 8 }</p> <p>森林整備保全事業標準歩掛</p> <p>第1編 共通工</p> <p>第1 土工 } [略] 第2 運搬工 }</p> <p>第3 コンクリート工</p> <p>3-1 コンクリート工</p> <p>3-1-1 適用範囲 } [略] 3-1-3 材料の使用量 }</p> <p>3-1-4 無筋・鉄筋型構造物コンクリートポンプ車打設</p> <p>(1) 無筋・鉄筋構造物のコンクリートポンプ車圧送コンクリートの範囲 } [略] (2) 機種の選定 }</p> <p>(3) 施工歩掛</p> <p>1) 無筋・鉄筋構造物コンクリートポンプ車打設 無筋・鉄筋構造物のコンクリートポンプ車による打設歩掛は、次表とする。</p>	<p>森林整備保全事業標準歩掛の留意事項</p> <p>1 } [略] 8 }</p> <p>森林整備保全事業標準歩掛</p> <p>第1編 共通工</p> <p>第1 土工 } [略] 第2 運搬工 }</p> <p>第3 コンクリート工</p> <p>3-1 コンクリート工</p> <p>3-1-1 適用範囲 } [略] 3-1-3 材料の使用量 }</p> <p>3-1-4 無筋・鉄筋型構造物コンクリートポンプ車打設</p> <p>(1) 無筋・鉄筋構造物のコンクリートポンプ車圧送コンクリートの範囲 } [略] (2) 機種の選定 }</p> <p>(3) 施工歩掛</p> <p>1) 無筋・鉄筋構造物コンクリートポンプ車打設 無筋・鉄筋構造物のコンクリートポンプ車による打設歩掛は、次表とする。</p>

改正後（被災地で適用する森林整備保全事業標準歩掛）

無筋・鉄筋構造物のコンクリートポンプ車による打設歩掛
(10m³当たり)

名 称	単 位	設 計 日 打 設 量				
		30m ³ 未満	30m ³ 以上 50m ³ 未満	50m ³ 以上 100m ³ 未満	100m ³ 以上 300m ³ 未満	300m ³ 以上 600m ³ 未満
		標 準 日 打 設 量				
		14	36	63	144	333
世 話 役	人	0.24	0.17	0.12	0.08	0.04
特 殊 作 業 員	〃	0.50	0.47	0.40	0.31	0.30
山 林 砂 防 工 (普通作業員)	〃 (〃)	1.02	0.71	0.52	0.34	0.22
コンクリートポンプ車運転	h	1.43	1.02	0.76	0.48	0.28
諸 雑 費 率	%	1	1	1	1	1

備考 [略]

- 2) 橋梁床版コンクリートポンプ車打設
橋梁床版のコンクリートポンプ車による打設歩掛は、次表とする。

橋梁床版のコンクリートポンプ車による打設歩掛
(10m³当たり)

名 称	単 位	設 計 日 打 設 量			
		50m ³ 未満	50m ³ 以上 100m ³ 未満	100m ³ 以上 300m ³ 未満	300m ³ 以上 600m ³ 未満
		標 準 日 打 設 量			
		36	63	144	333
世 話 役	人	0.17	0.12	0.08	0.04
特 殊 作 業 員	〃	0.47	0.40	0.31	0.30
普 通 作 業 員	〃	0.71	0.52	0.34	0.22
コンクリートポンプ車運転	h	1.23	0.86	0.70	
諸 雑 費 率	%	1	1	1	1

備考 [略]

- 3) 圧送管・組立・撤去歩掛 [略]

現 行（被災地で適用する森林整備保全事業標準歩掛）

無筋・鉄筋構造物のコンクリートポンプ車による打設歩掛
(10m³当たり)

名 称	単 位	設 計 日 打 設 量				
		30m ³ 未満	30m ³ 以上 50m ³ 未満	50m ³ 以上 100m ³ 未満	100m ³ 以上 300m ³ 未満	300m ³ 以上 600m ³ 未満
		標 準 日 打 設 量				
		14	36	63	144	333
世 話 役	人	0.24	0.17	0.12	0.08	0.04
特 殊 作 業 員	〃	0.50	0.47	0.40	0.31	0.30
山 林 砂 防 工 (普通作業員)	〃 (〃)	1.02	0.71	0.52	0.34	0.22
コンクリートポンプ車運転	h	1.43	1.02	0.76	0.48	0.28
諸 雑 費 率	%	1	1	1	1	1

備考 [略]

- 2) 橋梁床版コンクリートポンプ車打設
橋梁床版のコンクリートポンプ車による打設歩掛は、次表とする。

橋梁床版のコンクリートポンプ車による打設歩掛
(10m³当たり)

名 称	単 位	設 計 日 打 設 量			
		50m ³ 未満	50m ³ 以上 100m ³ 未満	100m ³ 以上 300m ³ 未満	300m ³ 以上 600m ³ 未満
		標 準 日 打 設 量			
		36	63	144	333
世 話 役	人	0.17	0.12	0.08	0.04
特 殊 作 業 員	〃	0.47	0.40	0.31	0.30
普 通 作 業 員	〃	0.71	0.52	0.34	0.22
コンクリートポンプ車運転	h	1.23	0.86	0.70	
諸 雑 費 率	%	1	1	1	1

備考 [略]

- 3) 圧送管・組立・撤去歩掛 [略]

改正後（被災地で適用する森林整備保全事業標準歩掛）

3-1-5 無筋・鉄筋構造物人力打設
無筋・鉄筋構造物人力打設歩掛は、次表とする。

無筋・鉄筋構造物人力打設歩掛
(10m³当たり)

名 称	単 位	数 量
世 話 役	人	0.63
特 殊 作 業 員	〃	0.88
山 林 砂 防 工 (普通作業員)	〃 (〃)	1.39
諸 雑 費 率	%	7

備考 [略]

3-1-6 小型構造物クレーン車打設

(1) 機種を選定 [略]

(2) 施工歩掛

小型構造物クレーン車打設歩掛は、次表とする。

小型構造物クレーン車打設歩掛
(10m³当たり)

名 称	単 位	数 量
世 話 役	人	1.00
特 殊 作 業 員	〃	1.13
山 林 砂 防 工 (普通作業員)	〃 (〃)	3.61
トラッククレーン又は クローラクレーン運転	日	0.62
諸 雑 費 率	%	4

備考 1 [略]

2 トラッククレーン及びクローラクレーンは、賃料とする。

3 } [略]

4 }

3-1-7 小型構造物人力打設

小型構造物人力打設歩掛は、次表とする。

現 行（被災地で適用する森林整備保全事業標準歩掛）

3-1-5 無筋・鉄筋構造物人力打設
無筋・鉄筋構造物人力打設歩掛は、次表とする。

無筋・鉄筋構造物人力打設歩掛
(10m³当たり)

名 称	単 位	数 量
世 話 役	人	0.63
特 殊 作 業 員	〃	0.88
山 林 砂 防 工 (普通作業員)	〃 (〃)	1.39
諸 雑 費 率	%	7

備考 [略]

3-1-6 小型構造物クレーン車打設

(1) 機種を選定 [略]

(2) 施工歩掛

小型構造物クレーン車打設歩掛は、次表とする。

小型構造物クレーン車打設歩掛
(10m³当たり)

名 称	単 位	数 量
世 話 役	人	1.00
特 殊 作 業 員	〃	1.13
山 林 砂 防 工 (普通作業員)	〃 (〃)	3.61
トラッククレーン又は クローラクレーン運転	日	0.62
諸 雑 費 率	%	4

備考 1 [略]

2 トラッククレーン及びクローラクレーンは、賃料とする。

3 } [略]

4 }

3-1-7 小型構造物人力打設

小型構造物人力打設歩掛は、次表とする。

改正後（被災地で適用する森林整備保全事業標準歩掛）

小型構造物人力打設歩掛

(10m³当たり)

名 称	単 位	数 量
世 話 役	人	1.01
特 殊 作 業 員	〃	1.11
山 林 砂 防 工 (普 通 作 業 員)	(〃)	2.94
諸 雑 費 率	%	4

備考 [略]

3-1-8 養生工

- (1) 一般養生工
一般養生における歩掛は、次表とする。

養生歩掛

(10m³当たり)

名 称	単 位	無筋構造物	鉄筋構造物	小型構造物
山 林 砂 防 工 (普 通 作 業 員)	人 (〃)	0.33	0.18	0.77
諸 雑 費 率	%	17	33	19

備考 [略]

3-1-9 養生工（特殊養生）

- (1) 適用範囲 [略]
(2) 特殊養生工

- 1) 特殊養生工（練炭養生）
練炭による特殊養生歩掛は、次表とする。

特殊養生歩掛（練炭養生）

(10m³当たり)

名 称	単 位	無筋構造物	鉄筋構造物	小型構造物
山 林 砂 防 工 (普 通 作 業 員)	人 (〃)	0.98	0.60	1.73
諸 雑 費 率	%	25	25	32

備考 [略]

現 行（被災地で適用する森林整備保全事業標準歩掛）

小型構造物人力打設歩掛

(10m³当たり)

名 称	単 位	数 量
世 話 役	人	1.01
特 殊 作 業 員	〃	1.11
山 林 砂 防 工 (普 通 作 業 員)	(〃)	2.94
諸 雑 費 率	%	4

備考 [略]

3-1-8 養生工

- (1) 一般養生工
一般養生における歩掛は、次表とする。

養生歩掛

(10m³当たり)

名 称	単 位	無筋構造物	鉄筋構造物	小型構造物
山 林 砂 防 工 (普 通 作 業 員)	人 (〃)	0.33	0.18	0.77
諸 雑 費 率	%	17	33	19

備考 [略]

3-1-9 養生工（特殊養生）

- (1) 適用範囲 [略]
(2) 特殊養生工

- 1) 特殊養生工（練炭養生）
練炭による特殊養生歩掛は、次表とする。

特殊養生歩掛（練炭養生）

(10m³当たり)

名 称	単 位	無筋構造物	鉄筋構造物	小型構造物
山 林 砂 防 工 (普 通 作 業 員)	人 (〃)	0.98	0.60	1.73
諸 雑 費 率	%	25	25	32

備考 [略]

改正後（被災地で適用する森林整備保全事業標準歩掛）

2) 特殊養生工（ジェットヒータ養生）

ア 機種を選定 [略]

イ 施工歩掛

ジェットヒータによる特殊養生歩掛は、次表とする。

特殊養生歩掛（ジェットヒータ養生）

(10m³当たり)

名 称	単 位	無筋構造物	鉄筋構造物	小型構造物
山 林 砂 防 工 (普 通 作 業 員)	人 (人)	0.82	0.48	2.67
ジェットヒータ運転	h	33.33	31.11	174.44
諸 雑 費 率	%	13	28	33

備考 [略]

ウ 運転時間 [略]

3-1-10 単価表 [略]

3-2 型枠工 } [略]
3-4 鉄筋工 }

第4 共通工(1) (溝渠工・法枠工等)

4-1 溝渠工 (水路工)

4-1-1 適用範囲 } [略]
4-1-5 L型側溝 }

4-1-6 ヒューム管

(1) ヒューム管 [略]

(2) ヒューム管用巻きコンクリート

ヒューム管用巻きコンクリート施工歩掛は次表とする。

現 行（被災地で適用する森林整備保全事業標準歩掛）

2) 特殊養生工（ジェットヒータ養生）

ア 機種を選定 [略]

イ 施工歩掛

ジェットヒータによる特殊養生歩掛は、次表とする。

特殊養生歩掛（ジェットヒータ養生）

(10m³当たり)

名 称	単 位	無筋構造物	鉄筋構造物	小型構造物
山 林 砂 防 工 (普 通 作 業 員)	人 (人)	0.82	0.48	2.67
ジェットヒータ運転	h	33.33	31.11	174.44
諸 雑 費 率	%	13	28	33

備考 [略]

ウ 運転時間 [略]

3-1-10 単価表 [略]

3-2 型枠工 } [略]
3-4 鉄筋工 }

第4 共通工(1) (溝渠工・法枠工等)

4-1 溝渠工 (水路工)

4-1-1 適用範囲 } [略]
4-1-5 L型側溝 }

4-1-6 ヒューム管

(1) ヒューム管 [略]

(2) ヒューム管用巻きコンクリート

ヒューム管用巻きコンクリート施工歩掛は次表とする。

改正後（被災地で適用する森林整備保全事業標準歩掛）

ヒューム管用巻きコンクリート施工歩掛
(10m³当たり)

管 径 (mm)		150	200 300	250 350	400 500	450 600	700 900	800 1,000	1,100 1,200 1,350	
名 称	単 位									
世 話 役	人	3.10	2.70	2.20	1.80	1.66				
特 殊 作 業 員	〃	1.11	1.11	1.11	1.11	1.09				
山 林 砂 防 工 (普通作業員)	〃 (〃)	10.27	9.17	7.67	6.27	5.77				
型 枠 工	〃	8.0	6.7	4.8	3.5	2.8				
コ ン ク リ ー ト	m ³	10.6								
基 礎 砕 石 費 率	90° 巻 き	%	40	36	27	24	22			
	180° 巻 き	〃	27	24	19	16	15			
	360° 巻 き	〃	13	13	10	9	—			
諸 雑 費 率	〃	12								

備考 [略]

4-1-7 ボックスカルバート } [略]
4-1-14 単価表 }

4-2 法枠工

4-2-1 留意事項 } [略]
4-2-2 プレキャスト法枠工 }

4-2-3 現場打法枠工

(1) 適用範囲 } [略]
(4) 機種の選定 }

(5) コンクリート投入打設
1) 人力打設 [略]

現 行（被災地で適用する森林整備保全事業標準歩掛）

ヒューム管用巻きコンクリート施工歩掛
(10m³当たり)

管 径 (mm)		150	200 300	250 350	400 500	450 600	700 900	800 1,000	1,100 1,200 1,350	
名 称	単 位									
世 話 役	人	3.10	2.70	2.20	1.80	1.66				
特 殊 作 業 員	〃	1.11	1.11	1.11	1.11	1.09				
山 林 砂 防 工 (普通作業員)	〃 (〃)	10.27	9.17	7.67	6.27	5.77				
型 枠 工	〃	8.0	6.7	4.8	3.5	2.8				
コ ン ク リ ー ト	m ³	10.6								
基 礎 砕 石 費 率	90° 巻 き	%	40	36	27	24	22			
	180° 巻 き	〃	27	24	19	16	15			
	360° 巻 き	〃	13	13	10	9	—			
諸 雑 費 率	〃	12								

備考 [略]

4-1-7 ボックスカルバート } [略]
4-1-14 単価表 }

4-2 法枠工

4-2-1 留意事項 } [略]
4-2-2 プレキャスト法枠工 }

4-2-3 現場打法枠工

(1) 適用範囲 } [略]
(4) 機種の選定 }

(5) コンクリート投入打設
1) 人力打設 [略]

改正後（被災地で適用する森林整備保全事業標準歩掛）

- 2) コンクリートポンプ車打設
 コンクリートポンプ車によるコンクリート投入打設歩掛は、次表とする。

コンクリートポンプ車によるコンクリート投入打設歩掛
 (100m³当たり)

名 称	単 位	数 量
世 話 役	人	4.22
特 殊 作 業 員	〃	9.78
山 林 砂 防 工 (普 通 作 業 員)	〃 (〃)	15.44
コンクリートポンプ車運転	h	25.22
諸 雑 費 率	%	2

備考 [略]

- (6) アンカー工 } [略]
 (11) 足場工 }

(12) 単価表

- 1) コンクリートポンプ車打設100m³当たり単価表 [略]

2) 圧送管組立、撤去10m³当たり単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
山 林 砂 防 工 (普 通 作 業 員)		人 (〃)	0.46×L/6.5	
計				

備考 [略]

- 3) アンカー設置工10本当たり単価表 } [略]
 5) 機械運転単価表 }
- 4-2-4 簡易法枠工 } [略]
 4-2-6 現場吹付法枠工 }
- 4-3 モルタル・コンクリート吹付工 } [略]
 4-8 (参考歩掛) 斜面安定工 }

現 行（被災地で適用する森林整備保全事業標準歩掛）

- 2) コンクリートポンプ車打設
 コンクリートポンプ車によるコンクリート投入打設歩掛は、次表とする。

コンクリートポンプ車によるコンクリート投入打設歩掛
 (100m³当たり)

名 称	単 位	数 量
世 話 役	人	4.22
特 殊 作 業 員	〃	9.78
山 林 砂 防 工 (普 通 作 業 員)	〃 (〃)	15.44
コンクリートポンプ車運転	h	25.22
諸 雑 費 率	%	2

備考 [略]

- (6) アンカー工 } [略]
 (11) 足場工 }

(12) 単価表

- 1) コンクリートポンプ車打設100m³当たり単価表 [略]

2) 圧送管組立、撤去10m³当たり単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
山 林 砂 防 工 (普 通 作 業 員)		人 (〃)	0.46×L/6.5	
計				

備考 [略]

- 3) アンカー設置工10本当たり単価表 } [略]
 5) 機械運転単価表 }
- 4-2-4 簡易法枠工 } [略]
 4-2-6 現場吹付法枠工 }
- 4-3 モルタル・コンクリート吹付工 } [略]
 4-8 (参考歩掛) 斜面安定工 }

改正後（被災地で適用する森林整備保全事業標準歩掛）

現行（被災地で適用する森林整備保全事業標準歩掛）

第5 共通工(2)（土留工・擁壁工等）

5-1 石材及び骨材の分類〔参考〕 }
 5-3 骨材等採取及び洗浄歩掛 } [略]

5-4 石、巨石、コンクリートブロック積（張）工

5-4-1 石積（張）工

(1) 適用範囲

(2) 施工歩掛

- 1) 積工、張工歩掛 [略]
- 2) 胴込・裏込コンクリート投入打設歩掛

(10m³当たり)

積張の区分			積工	張工
投入材	名称	単位		
胴込・裏込 コンクリート	特殊作業員	人	1.44	1.67
	山林砂防工 (普通作業員)	〃 (〃)	2.0	2.11
諸雑費率			12	6

備考 [略]

3) 裏込材（クラッシュラン）投入歩掛 [略]

(3) トラックレーンの作業範囲 }
 (5) 単価表 } [略]

5-4-2 巨石積（張）工 [略]

5-4-3 コンクリートブロック積（張）工

(1) コンクリートブロック積工

- 1) 適用範囲 } [略]
- 2) 施工概要 }

第5 共通工(2)（土留工・擁壁工等）

5-1 石材及び骨材の分類〔参考〕 }
 5-3 骨材等採取及び洗浄歩掛 } [略]

5-4 石、巨石、コンクリートブロック積（張）工

5-4-1 石積（張）工

(1) 適用範囲

(2) 施工歩掛

- 1) 積工、張工歩掛 [略]
- 2) 胴込・裏込コンクリート投入打設歩掛

(10m³当たり)

積張の区分			積工	張工
投入材	名称	単位		
胴込・裏込 コンクリート	特殊作業員	人	1.44	1.67
	山林砂防工 (普通作業員)	〃 (〃)	2.0	2.11
諸雑費率			12	6

備考 [略]

3) 裏込材（クラッシュラン）投入歩掛 [略]

(3) トラックレーンの作業範囲 }
 (5) 単価表 } [略]

5-4-2 巨石積（張）工 [略]

5-4-3 コンクリートブロック積（張）工

(1) コンクリートブロック積工

- 1) 適用範囲 } [略]
- 2) 施工概要 }

改正後（被災地で適用する森林整備保全事業標準歩掛）

3) 施工歩掛

ア コンクリートブロック積工 [略]

イ 胴込・裏込コンクリート、裏込材工

ア) 胴込・裏込コンクリート投入打設歩掛

胴込・裏込コンクリート投入打設歩掛は、次表とする。

胴込・裏込コンクリート打設歩掛

(10m³当たり)

投入材	名 称	規 格	単 位	ブロックの種類
				間知ブロック
胴込・裏込 コンクリート	特 殊 作 業 員		人	1.44
	山 林 砂 防 工 (普通作業員)		〃 (〃)	2.00 〔2.78〕 《3.67》
諸 雑 費 率			%	6

備考 [略]

イ) 胴込・裏込材投入歩掛 }
ウ) 吸出防止材（全面）設置歩掛 } [略]

ウ 現場打基礎工及び現場打天端工コンクリート打設工

ア) 打設工法の選定 [略]

イ) 現場打基礎工及び現場打天端工コンクリート打設歩掛

現場打基礎工及び現場打天端工のコンクリート打設歩掛は、次表とする。

現場打基礎工及び現場打天端工コンクリート打設歩掛

(10m³当たり)

名 称	規 格	単 位	人力打設		クレーン車打設	
			基礎工	天端工	基礎工	天端工
世 話 役		人	2.08	1.37	1.97	1.48
特 殊 作 業 員		〃	2.11	1.89	1.67	2.11
型 枠 工		〃	5.1	2.6	5.1	2.6
山 林 砂 防 工 (普通作業員)		〃 (〃)	7.20	5.89	6.87	5.09
トラッククレーン運転	油圧伸縮ジブ型 16 t 吊	日	—	—	0.89	0.56
諸 雑 費 率		%	11	10	10	10

現 行（被災地で適用する森林整備保全事業標準歩掛）

3) 施工歩掛

ア コンクリートブロック積工 [略]

イ 胴込・裏込コンクリート、裏込材工

ア) 胴込・裏込コンクリート投入打設歩掛

胴込・裏込コンクリート投入打設歩掛は、次表とする。

胴込・裏込コンクリート打設歩掛

(10m³当たり)

投入材	名 称	規 格	単 位	ブロックの種類
				間知ブロック
胴込・裏込 コンクリート	特 殊 作 業 員		人	1.44
	山 林 砂 防 工 (普通作業員)		〃 (〃)	2.00 〔2.78〕 《3.67》
諸 雑 費 率			%	6

備考 [略]

イ) 胴込・裏込材投入歩掛 }
ウ) 吸出防止材（全面）設置歩掛 } [略]

ウ 現場打基礎工及び現場打天端工コンクリート打設工

ア) 打設工法の選定 [略]

イ) 現場打基礎工及び現場打天端工コンクリート打設歩掛

現場打基礎工及び現場打天端工のコンクリート打設歩掛は、次表とする。

現場打基礎工及び現場打天端工コンクリート打設歩掛

(10m³当たり)

名 称	規 格	単 位	人力打設		クレーン車打設	
			基礎工	天端工	基礎工	天端工
世 話 役		人	2.08	1.37	1.97	1.48
特 殊 作 業 員		〃	2.11	1.89	1.67	2.11
型 枠 工		〃	5.1	2.6	5.1	2.6
山 林 砂 防 工 (普通作業員)		〃 (〃)	7.20	5.89	6.87	5.09
トラッククレーン運転	油圧伸縮ジブ型 16 t 吊	日	—	—	0.89	0.56
諸 雑 費 率		%	11	10	10	10

改正後（被災地で適用する森林整備保全事業標準歩掛）

- 備考 1 } [略]
 3 }
 4 } トラッククレーンは賃料とする。
 5 } [略]
 6 }

エ トラッククレーン
 トラッククレーンの作業範囲
 トラッククレーンの荷上げ範囲は、次表を標準とする。

トラッククレーンの荷上げ範囲

規 格	打 設 範 囲	
	打 設 高 さ	水 平 打 設 距 離
油圧伸縮ジブ型16t吊	18m以下	10m以下

備考 [略]

オ 胴込・裏込材、吸出防止材、コンクリートの使用量 [略]

4) 単価表 [略]

(2) コンクリートブロック張工

- 1) 適用範囲 } [略]
 2) 施工概要 }

3) 施工歩掛

ア コンクリートブロック張工 [略]

イ 胴込・裏込コンクリート、裏込材工

- ア) 胴込・裏込コンクリート投入打設歩掛
 胴込・裏込コンクリート投入打設歩掛は、次表とする。

胴込・裏込コンクリート打設歩掛

(10^{m³}当たり)

投 入 材	名 称	規 格	単 位	数 量
胴 込 ・ 裏 込 コンクリート	特 殊 作 業 員		人	1.33
	山 林 砂 防 工 (普 通 作 業 員)		〃 (〃)	2.56
諸 雑 費 率			%	10

備考 [略]

現 行（被災地で適用する森林整備保全事業標準歩掛）

- 備考 1 } [略]
 3 }
 4 } トラッククレーンは賃料とする。
 5 } [略]
 6 }

エ トラッククレーン
 トラッククレーンの作業範囲
 トラッククレーンの荷上げ範囲は、次表を標準とする。

トラッククレーンの荷上げ範囲

規 格	打 設 範 囲	
	打 設 高 さ	水 平 打 設 距 離
油圧伸縮ジブ型16t吊	18m以下	10m以下

備考 [略]

オ 胴込・裏込材、吸出防止材、コンクリートの使用量 [略]

4) 単価表 [略]

(2) コンクリートブロック張工

- 1) 適用範囲 } [略]
 2) 施工概要 }

3) 施工歩掛

ア コンクリートブロック張工 [略]

イ 胴込・裏込コンクリート、裏込材工

- ア) 胴込・裏込コンクリート投入打設歩掛
 胴込・裏込コンクリート投入打設歩掛は、次表とする。

胴込・裏込コンクリート打設歩掛

(10^{m³}当たり)

投 入 材	名 称	規 格	単 位	数 量
胴 込 ・ 裏 込 コンクリート	特 殊 作 業 員		人	1.33
	山 林 砂 防 工 (普 通 作 業 員)		〃 (〃)	2.56
諸 雑 費 率			%	10

備考 [略]

改正後（被災地で適用する森林整備保全事業標準歩掛）

- イ) 胴込・裏込材投入歩掛
 - エ) 吸出防止材（全面）設置歩掛
- } [略]

ウ) 現場打基礎工及び現場打天端工コンクリート打設工
 7) 打設工法の選定 [略]

- イ) 現場打基礎工及び現場打天端工コンクリート打設歩掛
 現場打基礎工及び現場打天端工のコンクリート打設歩掛は、次表とする。

現場打基礎工及び現場打天端工コンクリート打設歩掛
 (10m³当たり)

名称	規格	単位	人力打設		クレーン車打設	
			基礎工	天端工	基礎工	天端工
世話役		人	2.08	1.37	1.97	1.48
特殊作業員		〃	2.11	1.89	1.67	2.11
型枠工		〃	5.1	2.6	5.1	2.6
山林砂防工 (普通作業員)		〃 (〃)	7.20	5.89	6.87	5.09
ラフテレーンクレーン運転	排出ガス対策型油圧 伸縮ジブ型25 t 吊	日	—	—	0.89	0.56
諸雑费率		%	11	10	10	10

備考 [略]

- エ) ラフテレーンクレーン
 - オ) 胴込・裏込材、吸出防止材、コンクリートの使用量
- } [略]

カ) コンクリートブロック張総合歩掛
 遮水・止水シート使用によるコンクリートブロック張の一連施工歩掛は、次表とする。なお、裏込材厚は、間知ブロックの場合は10～30cmに、平ブロックの場合は15～25cmに適用する。

現行（被災地で適用する森林整備保全事業標準歩掛）

- イ) 胴込・裏込材投入歩掛
 - エ) 吸出防止材（全面）設置歩掛
- } [略]

ウ) 現場打基礎工及び現場打天端工コンクリート打設工
 7) 打設工法の選定 [略]

- イ) 現場打基礎工及び現場打天端工コンクリート打設歩掛
 現場打基礎工及び現場打天端工のコンクリート打設歩掛は、次表とする。

現場打基礎工及び現場打天端工コンクリート打設歩掛
 (10m³当たり)

名称	規格	単位	人力打設		クレーン車打設	
			基礎工	天端工	基礎工	天端工
世話役		人	2.08	1.37	1.97	1.48
特殊作業員		〃	2.11	1.89	1.67	2.11
型枠工		〃	5.1	2.6	5.1	2.6
山林砂防工 (普通作業員)		〃 (〃)	7.20	5.89	6.87	5.09
ラフテレーンクレーン運転	排出ガス対策型油圧 伸縮ジブ型25 t 吊	日	—	—	0.89	0.56
諸雑费率		%	11	10	10	10

備考 [略]

- エ) ラフテレーンクレーン
 - オ) 胴込・裏込材、吸出防止材、コンクリートの使用量
- } [略]

カ) コンクリートブロック張総合歩掛
 遮水・止水シート使用によるコンクリートブロック張の一連施工歩掛は、次表とする。なお、裏込材厚は、間知ブロックの場合は10～30cmに、平ブロックの場合は15～25cmに適用する。

改正後（被災地で適用する森林整備保全事業標準歩掛）

現行（被災地で適用する森林整備保全事業標準歩掛）

コンクリートブロック張工歩掛
(10㎡当たり)

コンクリートブロック張工歩掛
(10㎡当たり)

ブロック 質 量	名 称	規 格	単 位	ブロックの種類		
				間知ブロック	平ブロック	連節ブロック
150kg/個 未 満	世 話 役		人	0.1	0.1	0.1
	ブロック工		〃	0.2	0.2	0.2
	特殊作業員		〃	0.63	0.2	0.1
	山林砂防工 (普通作業員)		〃 (〃)	1.26	0.7	0.7
	ラフテレーン クレーン運転	排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊	日	0.3	0.2	0.2
	諸 雑 費 率		%	6	4(19)	5

ブロック 質 量	名 称	規 格	単 位	ブロックの種類		
				間知ブロック	平ブロック	連節ブロック
150kg/個 未 満	世 話 役		人	0.1	0.1	0.1
	ブロック工		〃	0.2	0.2	0.2
	特殊作業員		〃	0.63	0.2	0.1
	山林砂防工 (普通作業員)		〃 (〃)	1.26	0.7	0.7
	ラフテレーン クレーン運転	排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊	日	0.3	0.2	0.2
	諸 雑 費 率		%	6	4(19)	5

150kg/個 以 上	世 話 役		人	0.1	0.1	0.1
	ブロック工		〃	0.3	0.2	0.2
	特殊作業員		〃	0.53	0.2	0.2
	山林砂防工 (普通作業員)		〃 (〃)	1.26	0.5	0.5
	ラフテレーン クレーン運転	排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊	日	0.2	0.1	0.2
	諸 雑 費 率		%	6	5(22)	6

150kg/個 以 上	世 話 役		人	0.1	0.1	0.1
	ブロック工		〃	0.3	0.2	0.2
	特殊作業員		〃	0.53	0.2	0.2
	山林砂防工 (普通作業員)		〃 (〃)	1.26	0.5	0.5
	ラフテレーン クレーン運転	排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊	日	0.2	0.1	0.2
	諸 雑 費 率		%	6	5(22)	6

備考 [略]

備考 [略]

4) 単価表 [略]

4) 単価表 [略]

5-5 基礎・裏込工 } [略]
5-21 (参考歩掛) 目地・止水板設置工 }

5-5 基礎・裏込工 } [略]
5-21 (参考歩掛) 目地・止水板設置工 }

第6 杭打工及び矢板打工 } [略]
第9 市場単価 }

第6 杭打工及び矢板打工 } [略]
第9 市場単価 }

改正後（被災地で適用する森林整備保全事業標準歩掛）

現行（被災地で適用する森林整備保全事業標準歩掛）

第2編 治山

第1 山地治山土工

1-1 機械土工

- 1-1-1 適用基準 } [略]
 1-1-3 掘削法及び機種を選定（土砂） }

1-1-4 機械別土工歩掛

(1) ブルドーザ歩掛 [略]

(2) ショベル系掘削機歩掛

- 1) 1時間当たり土工量（VS） } [略]
 2) 1サイクル当たりの掘削積込量（q） }

3) 1サイクルの所要時間（Cm）

ア 掘削積込

(sec)

機種 \ 旋回角度	45°	90°	135°	180°
バックホウ	<u>35.0</u>	<u>37.5</u>	<u>40.0</u>	<u>43.8</u>
クラムシエル	33	36	39	42

備考 [略]

イ 掘削積込（小規模等）、床堀

(sec)

機種 \ 旋回角度	45°	90°	135°	180°
バックホウ	28	30	32	35
クラムシエル	33	36	39	42

備考 [略]

- 4) 作業効率（E） } [略]
 5) ショベル系掘削機械運転歩掛 }

第2編 治山

第1 山地治山土工

1-1 機械土工

- 1-1-1 適用基準 } [略]
 1-1-3 掘削法及び機種を選定（土砂） }

1-1-4 機械別土工歩掛

(1) ブルドーザ歩掛 [略]

(2) ショベル系掘削機歩掛

- 1) 1時間当たり土工量（VS） } [略]
 2) 1サイクル当たりの掘削積込量（q） }

3) 1サイクルの所要時間（Cm）

ア 掘削積込

(sec)

機種 \ 旋回角度	45°	90°	135°	180°
バックホウ	<u>31.1</u>	<u>33.3</u>	<u>35.6</u>	<u>38.9</u>
クラムシエル	33	36	39	42

備考 [略]

イ 掘削積込（小規模等）、床堀

(sec)

機種 \ 旋回角度	45°	90°	135°	180°
バックホウ	28	30	32	35
クラムシエル	33	36	39	42

備考 [略]

- 4) 作業効率（E） } [略]
 5) ショベル系掘削機械運転歩掛 }

改正後（被災地で適用する森林整備保全事業標準歩掛）

1-1-5 片切掘削（人力併用機械掘削） [略]

1-2 岩石工
1-4 岩盤清掃歩掛 } [略]

第2 治山ダム工

2-1 コンクリート工

2-1-1 適用範囲
2-1-4 人力投入打設歩掛 } [略]

2-1-5 コンクリートポンプ車打設歩掛
(1) 機種の選定 [略]

(2) 作業能力
コンクリートポンプ車打設の標準打設機械の作業歩掛は、次表を標準とする。

条 件	設計日打設量 (m ³)				
	30未満	30以上 45未満	45以上 60未満	60以上 100未満	100以上
標準日打設量 (m ³ /日)	22.5	31.5	45	67.5	117
標準時間当たり 打設量(m ³ /h)					
無筋構造物	9.0	12.6	14.4	18.0	22.5
鉄筋構造物	7.2	9.9	10.8	12.6	18.0

備考 [略]

(3) 打設歩掛

(10m³当たり)

区 分	世 話 役	特殊作業員	山林砂防工
打設 (A)	無筋構造物	0.22	0.33
	鉄筋 "	0.22	0.56
打設 (B)	無筋構造物	0.33	0.67
	鉄筋 "	0.33	0.89

備考 [略]

(4) 圧送管組立・撤去歩掛 } [略]
(5) 単価表

現 行（被災地で適用する森林整備保全事業標準歩掛）

1-1-5 片切掘削（人力併用機械掘削） [略]

1-2 岩石工
1-4 岩盤清掃歩掛 } [略]

第2 治山ダム工

2-1 コンクリート工

2-1-1 適用範囲
2-1-4 人力投入打設歩掛 } [略]

2-1-5 コンクリートポンプ車打設歩掛
(1) 機種の選定 [略]

(2) 作業能力
コンクリートポンプ車打設の標準打設機械の作業歩掛は、次表を標準とする。

条 件	設計日打設量 (m ³)				
	30未満	30以上 45未満	45以上 60未満	60以上 100未満	100以上
標準日打設量 (m ³ /日)	22.5	31.5	45	67.5	117
標準時間当たり 打設量(m ³ /h)					
無筋構造物	9.0	12.6	14.4	18.0	22.5
鉄筋構造物	7.2	9.9	10.8	12.6	18.0

備考 [略]

(3) 打設歩掛

(10m³当たり)

区 分	世 話 役	特殊作業員	山林砂防工
打設 (A)	無筋構造物	0.22	0.33
	鉄筋 "	0.22	0.56
打設 (B)	無筋構造物	0.33	0.67
	鉄筋 "	0.33	0.89

備考 [略]

(4) 圧送管組立・撤去歩掛 } [略]
(5) 単価表

改正後（被災地で適用する森林整備保全事業標準歩掛）

2-1-6 クレーン車類投入打設歩掛
(1) 投入打設歩掛

クレーン車打設歩掛
(10m³当たり)

名 称	単 位	無筋構造物	鉄筋構造物	小型構造物
世 話 役	人	0.22	0.22	0.89
特 殊 作 業 員	〃	0.67	0.89	2.78
山 林 砂 防 工	〃	0.78	1.00	3.67
トラッククレーン 運 転 日 数 又 は クローラクレーン	日	0.22	0.30	0.93
運 転 時 間	h	1.56	2.11	6.11
諸 雑 費 率	%	2	2	2

- 備考 1 [略]
 2 トラッククレーンは賃料とする。
 3 諸雑費は、パイプレータ、コンクリートバケット損料等の費用であり
 上表の労務費及びクレーン車の機械損料（トラッククレーンについ
 ては賃料）、運転経費の合計額に諸雑費率を乗じた金額を上限として計
 上する。
 4 } [略]
 5 }

(2) 投入打設単価表 [略]

2-1-7 コンクリート養生 } [略]
 2-1-8 型枠工 }

2-2 打継面処理（チップング）歩掛 } [略]
 2-8 （参考歩掛）現場混合コンクリート }

第3 山腹工 } [略]
 第5 森林整備 }

第6 海岸林造成

6-1 （参考歩掛）生育基盤盛土工 } [略]
 6-2 海岸植栽 }

現 行（被災地で適用する森林整備保全事業標準歩掛）

2-1-6 クレーン車類投入打設歩掛
(1) 投入打設歩掛

クレーン車打設歩掛
(10m³当たり)

名 称	単 位	無筋構造物	鉄筋構造物	小型構造物
世 話 役	人	0.22	0.22	0.89
特 殊 作 業 員	〃	0.67	0.89	2.78
山 林 砂 防 工	〃	0.78	1.00	3.67
トラッククレーン 運 転 日 数 又 は クローラクレーン	日	0.22	0.30	0.93
運 転 時 間	h	1.56	2.11	6.11
諸 雑 費 率	%	2	2	2

- 備考 1 [略]
 2 トラッククレーンは賃料とする。
 3 諸雑費は、パイプレータ、コンクリートバケット損料等の費用であり
 上表の労務費及びクレーン車の機械損料（トラッククレーンについ
 ては賃料）、運転経費の合計額に諸雑費率を乗じた金額を上限として計上する。
 4 } [略]
 5 }

(2) 投入打設単価表 [略]

2-1-7 コンクリート養生 } [略]
 2-1-8 型枠工 }

2-2 打継面処理（チップング）歩掛 } [略]
 2-8 （参考歩掛）現場混合コンクリート }

第3 山腹工 } [略]
 第5 森林整備 }

第6 海岸林造成

6-1 （参考歩掛）生育基盤盛土工 } [略]
 6-2 海岸植栽 }

改正後（被災地で適用する森林整備保全事業標準歩掛）

現行（被災地で適用する森林整備保全事業標準歩掛）

6-3 コンクリート根固ブロック工

6-3-1 適用範囲と施工概要 } [略]

6-3-2 製作

6-3-3 コンクリート工

(1) コンクリート投入打設方法 [略]

(2) コンクリート投入打設歩掛
 コンクリート打設歩掛及びクレーンの運転時間は次表とする。
 コンクリート投入打設歩掛

(100㎡当たり)

名称	規格	単位	ブロック実質量		
			2.5t以下	2.5tを超え 5.5t以下	5.5tを超え 11.0t以下
世話役		人	1.78	1.78	1.78
特殊作業員		〃	3.22	3.22	3.22
普通作業員		〃	3.56	3.56	3.56
ラフテレーン クレーン運転	排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型25t吊	日	2.56	2.00	1.89

備考 [略]

(3) 養生工
 養生工の歩掛は、次表とする。なお、給熱養生の場合は別途考慮する。
 一般養生工歩掛

(100㎡当たり)

名称	単位	ブロック実質量		
		2.5t以下	2.5tを超え5.5t以下	5.5tを超え11.0t以下
普通作業員	人	1.78	1.78	1.44

備考 [略]

(4) 材料の使用量 [略]

6-3-4 諸雑費 } [略]

6-3-7 単価表

6-3 コンクリート根固ブロック工

6-3-1 適用範囲と施工概要 } [略]

6-3-2 製作

6-3-3 コンクリート工

(1) コンクリート投入打設方法 [略]

(2) コンクリート投入打設歩掛
 コンクリート打設歩掛及びクレーンの運転時間は次表とする。
 コンクリート投入打設歩掛

(100㎡当たり)

名称	規格	単位	ブロック実質量		
			2.5t以下	2.5tを超え 5.5t以下	5.5tを超え 11.0t以下
世話役		人	1.78	1.78	1.78
特殊作業員		〃	3.22	3.22	3.22
普通作業員		〃	3.56	3.56	3.56
ラフテレーン クレーン運転	排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型25t吊	日	2.56	2.00	1.89

備考 [略]

(3) 養生工
 養生工の歩掛は、次表とする。なお、給熱養生の場合は別途考慮する。
 一般養生工歩掛

(100㎡当たり)

名称	単位	ブロック実質量		
		2.5t以下	2.5tを超え5.5t以下	5.5tを超え11.0t以下
普通作業員	人	1.78	1.78	1.44

備考 [略]

(4) 材料の使用量 [略]

6-3-4 諸雑費 } [略]

6-3-7 単価表

改正後（被災地で適用する森林整備保全事業標準歩掛）

現 行（被災地で適用する森林整備保全事業標準歩掛）

第3編 林 道

第1 道路土工

1-1 盛土の分類 [略]

1-2 機械掘削及び積込

- (1) 土工方式の区分 } [略]
 (2) 岩 石 }

(3) 土石

1) 機種の選定 [略]

2) 施工歩掛

ア ブルドーザ [略]

イ バックホウ

- (ア) 1時間当たり土工量の算定式は、次のとおりとする。 } [略]
 (イ) 1サイクル当たり掘削積込量 (q)

(ウ) 1サイクルの所要時間 (Cm)

ア) 掘削積込

	(sec)			
旋 回 角 度	45°	90°	135°	180°
バ ッ ク ホ ウ	35.0	37.5	40.0	43.8

備考 [略]

イ) 床堀

	(sec)			
旋 回 角 度	45°	90°	135°	180°
バ ッ ク ホ ウ	28	30	32	35

備考 [略]

- (エ) 作業効率 (E) } [略]
 (オ) バックホウ運転単価表 }

第3編 林 道

第1 道路土工

1-1 盛土の分類 [略]

1-2 機械掘削及び積込

- (1) 土工方式の区分 } [略]
 (2) 岩 石 }

(3) 土石

1) 機種の選定 [略]

2) 施工歩掛

ア ブルドーザ [略]

イ バックホウ

- (ア) 1時間当たり土工量の算定式は、次のとおりとする。 } [略]
 (イ) 1サイクル当たり掘削積込量 (q)

(ウ) 1サイクルの所要時間 (Cm)

ア) 掘削積込

	(sec)			
旋 回 角 度	45°	90°	135°	180°
バ ッ ク ホ ウ	31.1	33.3	35.6	38.9

備考 [略]

イ) 床堀

	(sec)			
旋 回 角 度	45°	90°	135°	180°
バ ッ ク ホ ウ	28	30	32	35

備考 [略]

- (エ) 作業効率 (E) } [略]
 (オ) バックホウ運転単価表 }

改正後（被災地で適用する森林整備保全事業標準歩掛）

- リ ロータ
- (ア) 1時間当たり土工量の算定方式は、次のとおりとする。 } [略]
- (イ) 1サイクル当たり掘削積込量 (q)
- (ウ) 1サイクルの所要時間
土質にかかわらず (クローラローダ)・・・Cm = 58sec
(ホイールローダ)・・・Cm = 50sec
- (エ) Cm = (mL + t₁ + t₂) / 0.8
[以下、略]
- (オ) 作業効率 (E) } [略]
- (キ) ロータ運転単価表 } [略]

エ 片切掘削（人力併用機械掘削） [略]

1-3 盛土

1-3-1 機械盛土

(1) 機種の選定 [略]

(2) 機種別の作業量

工種	区分	標準機種		V (m/h)	W (m)	D (m)	N	E	Q (m ³ /h)	A (m ²)
		機械名	規格							
敷ならし	路体	ブルドーザ	11t級	-	-	0.3	-	0.6	<u>54</u>	-
			15t級	-	-	0.3	-	0.6	<u>62</u>	-
	路床	21t級	-	-	0.3	-	0.6	<u>88</u>	-	
締固め	路体	ブルドーザ	11t級	3,500	0.7	0.3	5	0.6	<u>71</u>	<u>235</u>
			15t級	3,500	0.8	0.3	5	0.6	<u>81</u>	<u>269</u>
			21t級	3,500	0.9	0.3	4	0.6	<u>113</u>	<u>378</u>
	路床	ブルドーザ	15t級	3,500	0.8	0.2	7	0.6	<u>38</u>	<u>192</u>
			21t級	3,500	0.9	0.2	6	0.6	<u>50</u>	<u>252</u>
			タイヤローラ	8~20t	3,500	1.8	0.2	7	0.4	<u>58</u>

- 備考 1 [略]
- 2 ブルドーザの1時間当たり敷均し作業量の算定式は次のとおりとする。
- 11t級ブルドーザの場合
Q = 0.8 × 10E (11D + 8) (m³/h)
- 15t級ブルドーザの場合
Q = 0.8 × 10E (13D + 9) (m³/h)
- 21t級ブルドーザの場合
Q = 0.8 × 10E (18D + 13) (m³/h)

現行（被災地で適用する森林整備保全事業標準歩掛）

- リ ロータ
- (ア) 1時間当たり土工量の算定方式は、次のとおりとする。 } [略]
- (イ) 1サイクル当たり掘削積込量 (q)
- (ウ) 1サイクルの所要時間
土質にかかわらず (クローラローダ)・・・Cm = 51sec
(ホイールローダ)・・・Cm = 44sec
- (エ) Cm = (mL + t₁ + t₂) / 0.9
[以下、略]
- (オ) 作業効率 (E) } [略]
- (キ) ロータ運転単価表 } [略]

エ 片切掘削（人力併用機械掘削） [略]

1-3 盛土

1-3-1 機械盛土

(1) 機種の選定 [略]

(2) 機種別の作業量

工種	区分	標準機種		V (m/h)	W (m)	D (m)	N	E	Q (m ³ /h)	A (m ²)
		機械名	規格							
敷ならし	路体	ブルドーザ	11t級	-	-	0.3	-	0.6	<u>61</u>	-
			15t級	-	-	0.3	-	0.6	<u>70</u>	-
	路床	21t級	-	-	0.3	-	0.6	<u>99</u>	-	
締固め	路体	ブルドーザ	11t級	3,500	0.7	0.3	5	0.6	<u>79</u>	<u>265</u>
			15t級	3,500	0.8	0.3	5	0.6	<u>91</u>	<u>302</u>
			21t級	3,500	0.9	0.3	4	0.6	<u>128</u>	<u>425</u>
	路床	ブルドーザ	15t級	3,500	0.8	0.2	7	0.6	<u>43</u>	<u>216</u>
			21t級	3,500	0.9	0.2	6	0.6	<u>57</u>	<u>284</u>
			タイヤローラ	8~20t	3,500	1.8	0.2	7	0.4	<u>65</u>

- 備考 1 [略]
- 2 ブルドーザの1時間当たり敷均し作業量の算定式は次のとおりとする。
- 11t級ブルドーザの場合
Q = 0.9 × 10E (11D + 8) (m³/h)
- 15t級ブルドーザの場合
Q = 0.9 × 10E (13D + 9) (m³/h)
- 21t級ブルドーザの場合
Q = 0.9 × 10E (18D + 13) (m³/h)

改正後（被災地で適用する森林整備保全事業標準歩掛）

ここで

- Q：1時間当たり敷均し土量(m³/h)
 締固め後の状態の土量をいう。
 D：仕上がり厚さ(m)
 締固め後の状態の厚さをいう。
 E：作業効率 [表、略]

- 3 敷均し補助労力は、Qに対して次表により計上する。
 (人/100m³)

作業	工種	普通作業員
敷ならし	築堤	0.25
	路体	
	路床	0.38

- 4 ブルドーザ1時間当たりの締固め作業量の算定式は、次のとおりとする。
 作業量を締固め土量(m³/h)で表す場合

$$Q = 0.8 \times \frac{V \times W \times D \times E}{N} \quad (\text{m}^3/\text{h})$$

作業量を締固め面積(m²/h)で表す場合

$$A = 0.8 \times \frac{V \times W \times E}{N} \quad (\text{m}^2/\text{h})$$

ここで

- Q：運転1時間当たり作業量(m³/h)
 A： " 作業面積(m²/h)
 V：締固め速度(m/h)
 W：1回の有効締固め幅(m)
 D：仕上り厚さ } 次表、仕上がり厚さと締固め回数による。
 N：締固め回数 }

[表、略]

- 5 ブルドーザで敷ならし作業を行いながら、ブルドーザで締固め作業を行う場合の、機械運転1時間当たりの締固め作業量の算定式は、次のとおりとする。

[式、略]

機械補助労務

(人/100m³)

作業	工種	普通作業員
敷ならし	築堤	0.25
	路体	
	路床	0.38

現行（被災地で適用する森林整備保全事業標準歩掛）

ここで

- Q：1時間当たり敷均し土量(m³/h)
 締固め後の状態の土量をいう。
 D：仕上がり厚さ(m)
 締固め後の状態の厚さをいう。
 E：作業効率 [表、略]

- 3 敷均し補助労力は、Qに対して次表により計上する。
 (人/100m³)

作業	工種	普通作業員
敷ならし	築堤	0.22
	路体	
	路床	0.33

- 4 ブルドーザ1時間当たりの締固め作業量の算定式は、次のとおりとする。
 作業量を締固め土量(m³/h)で表す場合

$$Q = 0.9 \times \frac{V \times W \times D \times E}{N} \quad (\text{m}^3/\text{h})$$

作業量を締固め面積(m²/h)で表す場合

$$A = 0.9 \times \frac{V \times W \times E}{N} \quad (\text{m}^2/\text{h})$$

ここで

- Q：運転1時間当たり作業量(m³/h)
 A： " 作業面積(m²/h)
 V：締固め速度(m/h)
 W：1回の有効締固め幅(m)
 D：仕上り厚さ } 次表、仕上がり厚さと締固め回数による。
 N：締固め回数 }

[表、略]

- 5 ブルドーザで敷ならし作業を行いながら、ブルドーザで締固め作業を行う場合の、機械運転1時間当たりの締固め作業量の算定式は、次のとおりとする。

[式、略]

機械補助労務

(人/100m³)

作業	工種	普通作業員
敷ならし	築堤	0.22
	路体	
	路床	0.33

改正後（被災地で適用する森林整備保全事業標準歩掛）

ブルドーザ敷均し締固め1時間当たり作業量 (m³/h)

規格	11t級	15t級	21t級	備考
区分	締固め作業 (Q) (0.3m)	締固め作業 (Q) (0.3m)	締固め作業 (Q) (0.3m)	
敷均し締固め合成作業	31	35	50	

1-3-2 標準機械では困難な場合の機械盛土

(1) 機種を選定 [略]

(2) 日当たり作業量

各作業の日当たり作業量は、次表を標準とする。

敷均し作業の日当たり作業量 (1日当たり)

作業	工種	機械名	規格	単位	数量
敷均し	路体 路床 築堤等	ブルドーザ	排出ガス対策型 普通3t級	m ³	104

備考 1 敷均し作業の仕上がり厚さは0.2~0.3mとする。

締固め作業の日当たり作業量 (1日当たり)

作業	締固め度 期待値	機械名	規格	単位	数量
締固め	路床並	振動ローラ	搭乗・コンバインド型・ 排出ガス対策型 3~4t	m ³	80
			ハンドガイド式 0.8~1.1t	"	44
	路体・ 築堤並	振動ローラ	搭乗・コンバインド型・ 排出ガス対策型 3~4t	"	96
			ハンドガイド式 0.8~1.1t	"	56

(3) 補助労務

敷均し作業の補助労務は、次表を標準とする。

機械補助労務

(100m³当たり)

名称	単位	労務
普通作業員	人	0.38

(4) 単価表 [略]

現行（被災地で適用する森林整備保全事業標準歩掛）

ブルドーザ敷均し締固め1時間当たり作業量 (m³/h)

規格	11t級	15t級	21t級	備考
区分	締固め作業 (Q) (0.3m)	締固め作業 (Q) (0.3m)	締固め作業 (Q) (0.3m)	
敷均し締固め合成作業	34	40	56	

1-3-2 標準機械では困難な場合の機械盛土

(1) 機種を選定 [略]

(2) 日当たり作業量

各作業の日当たり作業量は、次表を標準とする。

敷均し作業の日当たり作業量 (1日当たり)

作業	工種	機械名	規格	単位	数量
敷均し	路体 路床 築堤等	ブルドーザ	排出ガス対策型 普通3t級	m ³	117

備考 1 敷均し作業の仕上がり厚さは0.2~0.3mとする。

締固め作業の日当たり作業量 (1日当たり)

作業	締固め度 期待値	機械名	規格	単位	数量
締固め	路床並	振動ローラ	排出ガス対策型 搭乗式 コンバインド型 3~4t	m ³	90
			ハンドガイド式 0.8~1.1t	"	50
	路体・ 築堤並	振動ローラ	排出ガス対策型 搭乗式 コンバインド型 3~4t	"	108
			ハンドガイド式 0.8~1.1t	"	63

(3) 補助労務

敷均し作業の補助労務は、次表を標準とする。

機械補助労務

(100m³当たり)

名称	単位	労務
普通作業員	人	0.33

(4) 単価表 [略]

改正後（被災地で適用する森林整備保全事業標準歩掛）

1-4 路盤工 } [略]
1-5 安定処理 }

第2 舗装工

2-1 路盤工（舗装工） } [略]
2-2 アスファルト舗装工 }

2-3 コンクリート路面工

(1) 人力舗設歩掛

(100㎡当たり)

名 称	形状寸法	単 位	数 量	摘 要
生コンクリート		m ³		割増率4%
世 話 役		人	0.22	
特 殊 作 業 員		〃	2.56	
普 通 作 業 員		〃	3.89	
諸 雑 費		%	5.0	労務費の5%

備考 [略]

(2) 路盤紙敷設歩掛 } [略]
(3) 溶接金網敷設歩掛 }

2-4 (参考歩掛) セメント安定処理工 [略]

第3 道路付属施設 [略]

第4 橋梁工

4-1 鋼橋架設工
(1) 適用範囲 } [略]
(13) 足場工、防護工及び登り棧橋工 }

(14) 鋼橋床版工

本資料は、鋼橋床版工のうち足場工及び防護工、型枠工、鉄筋工、コンクリート工、養生工に適用する。

現 行（被災地で適用する森林整備保全事業標準歩掛）

1-4 路盤工 } [略]
1-5 安定処理 }

第2 舗装工

2-1 路盤工（舗装工） } [略]
2-2 アスファルト舗装工 }

2-3 コンクリート路面工

(1) 人力舗設歩掛

(100㎡当たり)

名 称	形状寸法	単 位	数 量	摘 要
生コンクリート		m ³		割増率4%
世 話 役		人	0.22	
特 殊 作 業 員		〃	2.56	
普 通 作 業 員		〃	3.89	
諸 雑 費		%	5.0	労務費の5%

備考 [略]

(2) 路盤紙敷設歩掛 } [略]
(3) 溶接金網敷設歩掛 }

2-4 (参考歩掛) セメント安定処理工 [略]

第3 道路付属施設 [略]

第4 橋梁工

4-1 鋼橋架設工
(1) 適用範囲 } [略]
(13) 足場工、防護工及び登り棧橋工 }

(14) 鋼橋床版工

本資料は、鋼橋床版工のうち足場工及び防護工、型枠工、鉄筋工、コンクリート工、養生工に適用する。

改正後（被災地で適用する森林整備保全事業標準歩掛）

- 1) 足場工及び防護工 } [略]
- 4) コンクリート工 }
- 5) 養生工

養生工歩掛

(100㎡当たり)

名 称	規 格	単 位	数 量	償却率
普通作業員		人	1.78	
養生マット		㎡	110	25%

備考 [略]

- (15) グレーチング床版架設工及び足場工 } [略]
- (16) 単価表及び内訳表 }

4-2 PC桁架設工

- (1) 適用範囲 } [略]
- (4) 架設桁による架設 }

- (5) 横組工
横組工とは横桁中埋めコンクリート、間詰床版及び横締の一連の作業で、その内訳は次のとおりである。
[図、略]

- 1) 鉄筋工 [略]
- 2) コンクリート工
ア 打設工法 } [略]
- イ コンクリートポンプ車の規格 }
- ウ コンクリート工歩掛
型枠の製作、設置・撤去、コンクリートポンプ車による打設及び養生歩掛は、次表とする。

現 行（被災地で適用する森林整備保全事業標準歩掛）

- 1) 足場工及び防護工 } [略]
- 4) コンクリート工 }
- 5) 養生工

養生工歩掛

(100㎡当たり)

名 称	規 格	単 位	数 量	償却率
普通作業員		人	1.78	
養生マット		㎡	110	25%

備考 [略]

- (15) グレーチング床版架設工及び足場工 } [略]
- (16) 単価表及び内訳表 }

4-2 PC桁架設工

- (1) 適用範囲 } [略]
- (4) 架設桁による架設 }

- (5) 横組工
横組工とは横桁中埋めコンクリート、間詰床版及び横締の一連の作業で、その内訳は次のとおりである。
[図、略]

- 1) 鉄筋工 [略]
- 2) コンクリート工
ア 打設工法 } [略]
- イ コンクリートポンプ車の規格 }
- ウ コンクリート工歩掛
型枠の製作、設置・撤去、コンクリートポンプ車による打設及び養生歩掛は、次表とする。

改正後（被災地で適用する森林整備保全事業標準歩掛）

現 行（被災地で適用する森林整備保全事業標準歩掛）

コンクリート工歩掛 (10m³当たり)

桁 区 分	労 務 (人)				諸雑費率 (%)
	橋 梁 世話役	特 殊 作業員	型 枠 工	普 通 作業員	
プレテンションT桁、 ポストテンション桁	3.78	1.78	13.5	13.33(11.00)	8(7)
プレテンション床版桁	0.89	1.78	2.5	6.00(3.67)	12(6)

備考 1 コンクリートポンプ車の運転時間はコンクリート10m³当たり1.67時間とする。

2 }
4 }
5 }
6 }
7 }

1日当たり打設量は、36m³を標準とする。

エ コンクリート使用量 [略]

3) PC工 }
6) 単価表、内訳表 } [略]

(6) 支承工 }
(8) 機械器具損料 } [略]

4-3 落橋防止装置工 [略]

第5 用地造成

5-1 用地造成歩掛表

(1) 適用範囲 }
(2) 機種の選定 } [略]

(3) ブルドーザ
1) 掘削押土作業 [略]

コンクリート工歩掛 (10m³当たり)

桁 区 分	労 務 (人)				諸雑費率 (%)
	橋 梁 世話役	特 殊 作業員	型 枠 工	普 通 作業員	
プレテンションT桁、 ポストテンション桁	3.78	1.78	13.5	13.33(11.00)	8(7)
プレテンション床版桁	0.89	1.78	2.5	6.00(3.67)	12(6)

備考 1 コンクリートポンプ車の運転時間はコンクリート10m³当たり1.67時間とする。

2 }
4 }
5 }
6 }
7 }

1日当たり打設量は、36m³を標準とする。

エ コンクリート使用量 [略]

3) PC工 }
6) 単価表、内訳表 } [略]

(6) 支承工 }
(8) 機械器具損料 } [略]

4-3 落橋防止装置工 [略]

第5 用地造成

5-1 用地造成歩掛表

(1) 適用範囲 }
(2) 機種の選定 } [略]

(3) ブルドーザ
1) 掘削押土作業 [略]

改正後（被災地で適用する森林整備保全事業標準歩掛）

2) 敷均し・締固め作業

工種	標準機械		V (m/h)	W (m)	D (m)	N	E	Q (m ³ /h)	A (m ²)
	機械名	規格							
敷均し	ブルドーザ	11t級	—	—	0.3	—	0.6	<u>54</u>	—
		15t級	—	—	0.3	—	0.6	<u>62</u>	—
		21t級	—	—	0.3	—	0.6	<u>88</u>	—
締固め	ブルドーザ	11t級	3,500	0.7	0.3	5	0.6	<u>71</u>	<u>235</u>
		15t級	3,500	0.8	0.3	5	0.6	<u>81</u>	<u>269</u>
		21t級	3,500	0.9	0.3	4	0.6	<u>113</u>	<u>378</u>

備考 1 [略]

2 ブルドーザの1時間当たり敷均し作業量の算定式は次のとおりとする。

11t級ブルドーザの場合

$$Q = 0.8 \times 10E (11D + 8) \text{ (m}^3\text{/h)}$$

15t級ブルドーザの場合

$$Q = 0.8 \times 10E (13D + 9) \text{ (m}^3\text{/h)}$$

21t級ブルドーザの場合

$$Q = 0.8 \times 10E (18D + 13) \text{ (m}^3\text{/h)}$$

ここで

Q：1時間当たり敷均し土量(m³/h)

締固め後の状態の土量をいう。

D：仕上がり厚さ(m)

締固め後の状態の厚さをいう。

E：作業効率 [表、略]

3 敷均し補助労務は、Qに対して次表により計上する。

(人/100m³)

作業	普通作業員
敷均し	<u>0.25</u>

4 ブルドーザ1時間当たりの締固め作業量の算定式は、次のとおりとする。
作業量を締固め土量(m³/h)で表す場合

$$Q = 0.8 \times \frac{V \times W \times D \times E}{N} \text{ (m}^3\text{/h)}$$

作業量を締固め面積(m²/h)で表す場合

$$A = 0.8 \times \frac{V \times W \times E}{N} \text{ (m}^2\text{/h)}$$

ここで

Q：運転1時間当たり作業量(m³/h)

A： " 作業面積(m²/h)

V：締固め速度(m/h)

W：1回の有効締固め幅(m)

現行（被災地で適用する森林整備保全事業標準歩掛）

2) 敷均し・締固め作業

工種	標準機械		V (m/h)	W (m)	D (m)	N	E	Q (m ³ /h)	A (m ²)
	機械名	規格							
敷均し	ブルドーザ	11t級	—	—	0.3	—	0.6	<u>61</u>	—
		15t級	—	—	0.3	—	0.6	<u>70</u>	—
		21t級	—	—	0.3	—	0.6	<u>99</u>	—
締固め	ブルドーザ	11t級	3,500	0.7	0.3	5	0.6	<u>79</u>	<u>265</u>
		15t級	3,500	0.8	0.3	5	0.6	<u>91</u>	<u>302</u>
		21t級	3,500	0.9	0.3	4	0.6	<u>128</u>	<u>425</u>

備考 1 [略]

2 ブルドーザの1時間当たり敷均し作業量の算定式は次のとおりとする。

11t級ブルドーザの場合

$$Q = 0.9 \times 10E (11D + 8) \text{ (m}^3\text{/h)}$$

15t級ブルドーザの場合

$$Q = 0.9 \times 10E (13D + 9) \text{ (m}^3\text{/h)}$$

21t級ブルドーザの場合

$$Q = 0.9 \times 10E (18D + 13) \text{ (m}^3\text{/h)}$$

ここで

Q：1時間当たり敷均し土量(m³/h)

締固め後の状態の土量をいう。

D：仕上がり厚さ(m)

締固め後の状態の厚さをいう。

E：作業効率 [表、略]

3 敷均し補助労務は、Qに対して次表により計上する。

(人/100m³)

作業	普通作業員
敷均し	<u>0.22</u>

4 ブルドーザ1時間当たりの締固め作業量の算定式は、次のとおりとする。
作業量を締固め土量(m³/h)で表す場合

$$Q = 0.9 \times \frac{V \times W \times D \times E}{N} \text{ (m}^3\text{/h)}$$

作業量を締固め面積(m²/h)で表す場合

$$A = 0.9 \times \frac{V \times W \times E}{N} \text{ (m}^2\text{/h)}$$

ここで

Q：運転1時間当たり作業量(m³/h)

A： " 作業面積(m²/h)

V：締固め速度(m/h)

W：1回の有効締固め幅(m)

改正後（被災地で適用する森林整備保全事業標準歩掛）

D：仕上り厚さ（次表、仕上がり厚さと締固め回数による。）
N：締固め回数（ " ）

[表、略]

5 ブルドーザで敷ならし作業を行いながら、ブルドーザで締固め作業を行う場合の、機械運転1時間当たりの締固め作業量の算定式は、次のとおりとする。

[式、略]

機械補助労務（人/100m³）

作業	普通作業員
敷均し	0.25

ブルドーザ敷均し締固め1時間当たり作業量（m³/h）

規格	11t級	15t級	21t級	備考
区分	締固め作業 (Q)(0.3m)	締固め作業 (Q)(0.3m)	締固め作業 (Q)(0.3m)	
敷均し締固め 合成作業	31	35	50	

(4) スクレープドーザ }
(6) リップドーザ岩掘削 } [略]

[参考]

第1 機械運転単価表 }
第4 移動式クレーンの規格別作業能力表 } [略]

現行（被災地で適用する森林整備保全事業標準歩掛）

D：仕上り厚さ（次表、仕上がり厚さと締固め回数による。）
N：締固め回数（ " ）

[表、略]

5 ブルドーザで敷ならし作業を行いながら、ブルドーザで締固め作業を行う場合の、機械運転1時間当たりの締固め作業量の算定式は、次のとおりとする。

[式、略]

機械補助労務（人/100m³）

作業	普通作業員
敷均し	0.22

ブルドーザ敷均し締固め1時間当たり作業量（m³/h）

規格	11t級	15t級	21t級	備考
区分	締固め作業 (Q)(0.3m)	締固め作業 (Q)(0.3m)	締固め作業 (Q)(0.3m)	
敷均し締固め 合成作業	34	40	56	

(4) スクレープドーザ }
(6) リップドーザ岩掘削 } [略]

[参考]

第1 機械運転単価表 }
第4 移動式クレーンの規格別作業能力表 } [略]